

平成18事業年度

決 算 報 告 書

自：平成18年 4月 1日

至：平成19年 3月31日

国立大学法人東北大学

## 平成18年度 決算報告書

国立大学法人東北大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	53,981	53,981	0	
施設整備費補助金	3,467	2,488	△ 979	(注1)
補助金等収入	201	638	437	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	141	141	0	
自己収入	33,953	39,858	5,905	
授業料、入学金及び検定料収入	10,336	10,396	60	(注3)
附属病院収入	23,268	23,649	381	(注4)
財産処分収入	-	1,557	1,557	(注5)
雑収入	349	4,256	3,907	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	13,086	15,088	2,002	(注7)
長期借入金	2,185	2,185	0	
承継剰余金	-	38	38	(注8)
目的積立金取崩	880	0	△ 880	
計	107,894	114,417	6,523	
支出				
業務費	71,363	73,147	1,784	(注9)
教育研究経費	49,753	49,204	△ 549	
診療経費	21,610	23,943	2,333	
一般管理費	12,777	17,312	4,535	(注10)
施設整備費	5,793	4,814	△ 979	(注11)
補助金等	201	638	437	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	13,086	13,123	37	(注13)
長期借入金償還金	4,674	4,608	△ 66	(注14)
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	-	85	85	(注15)
計	107,894	113,727	5,833	
収入-支出	0	690	690	

## ○予算と決算の差異について

(注1) 施設整備費補助金については、アスベスト対策事業及び総合研究棟改修(材料・物性系)事業の繰越により、予算額に比して決算額が981百万円少額となっています。

(注2) 補助金等収入については、大学改革推進等補助金等の預り補助金の受入により、予算額に比して決算額が437百万円多額となっています。

(注3) 授業料、入学金及び検定料収入については、在学者数の増により、授業料収入が予算額に比して決算額が82百万円多額となっています。

(注4) 附属病院収入については、病床稼働率の向上及び手術件数の増等により予算額に比して決算額が381百万円多額となっています。

(注5) 財産処分収入については、太陽エネルギー実験所の売り払いにより、予算額に比して決算額が1,384百万円多額となっています。

(注6) 雑収入については、科研費等補助金間接経費の受入により、予算額に比して決算額が1,861百万円多額となっています。また、地下鉄事業に伴う物件移転補償等収入により、予算額に比して決算額1,074百万円多額となっています。

(注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、外部資金の獲得に努めたため、予算額に比して寄附金決算額が1,218百万円多額となっています。

(注8) 承継剰余金については、賠償金等の支払により、予算額に比して決算額が38百万円多額となっています。

(注9) 業務費については、病院収益の増加により、予算額に比して決算額が901百万円多額となっています。また、病棟新営に伴う基盤整備等により、予算額に比して決算額が735百万円多額となっています。

(注10) 一般管理費については、新キャンパス整備に伴う用地取得等により、予算額に比して決算額が3,408百万円多額となっています。また、補助金等間接経費の支出により、予算額に比して決算額1,541百万円多額となっています。

(注11) 施設整備費については、(注1)に示した理由により、予算額に比して決算額が981百万円少額となっています。

(注12) 補助金等については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が437百万円多額となっています。

(注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)に示した理由等により、予算額に比して決算額が37百万円多額となっています。

(注14) 長期借入金償還金については、利率変動により予算額に比して決算額が10百万円少額となっています。

(注15) 国立大学法人財務・経営センター施設費納付金については、国道48号線拡幅工事に伴う土地処分収入により、予算額に比して決算額が85百万円多額となっています。